

在園児と保護者の声



上原夕貴子さん 菜祐ちゃん
(たんぽぽ組)

ずっと私にべったりだった娘が、保育園で友だちと触れ合うことで、言葉も増え、社会性が身に付きました。友だちができ、楽しかったと娘も喜んでいました。今までありがとうございました。



椎山竜児さん 武琉君(きく組)

着替えや歯磨きなど、息子は保育園で習ったことを家でも実践しています。おかげさまで自分のことは自分でできるようになりました。息子も楽しんで登園していたので、安心して預けられました。



山崎優乃ちゃん 遥斗君 祐子さん
(たんぽぽ組)

保育園に通うようになって、娘は箸の持ち方などを正しくできるようになりました。友だちと遊んだことが一番の思い出だと娘は話しています。子どもたちを温かく見守ってもらい、園には感謝の気持ちでいっぱいです。



5



7

6

1・5・7 園児と保育士で「ふるさと」「ありがとうの花」など3曲を合唱 2 園名の記されたプレートの返却 3 人文字で「万田」を作りました。写真提供：清田カメラ 4・8 園への感謝の気持ちを込めて、風船を飛ばしました 6 山本園長先生のあいさつ。時折声を詰まらせながら、お別れの言葉を述べました 9 飛ばした風船を見上げる園児。赤や黄色など色とりどりの風船が空高く飛んでいきました



8

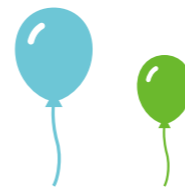


9



1

フォトレポート



たくさんの思い出をありがとう

万田保育園 閉園式

3月12日、万田保育園で閉園式が行われ、園児(79人)・保護者・地域住民など2百人ほどが63年の歴史を刻んだ園との別れを惜しみました。

山本修子園長は「多くの人に親んでもらった園がなくなってしまうのは、寂しいです。でも、思い出はいつまでも心の中に残ります。園児の皆さん、たくさんのご卒業を吸収して、心も体も大きくなってください」とあいさつ。

園児たちは「はい!」と元気に返事をしていました。

園児たちによるセレモニーでは、岩尾風鷲君と坂本比呂君が園名の記されたプレートを下山市長へ返却。全員で「さよならぼくたちの保育園」などを合唱しました。閉式後は、園庭で「万田」の人文字を作り、風船を飛ばして、園への感謝の気持ちを表しました。

同園は昭和28(1953)年に開所。園舎の老朽化のため、3月31日をもって閉園となりました。平成27年度の卒園児17人を含め、これまでに1433人の卒業生を送り出してきました。在園児のほとんどが4月から開所するなかよしの森保育園へ通います。



4



3



2